

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	小野田 謙一
事業実施方法	直営										
補助率											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)]	政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
R3年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国45位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 45位 (R3)					
[事業目的]											
年度末に北陸新幹線県内開業の1年前のカウントダウンを迎える令和4年度に、始発となる東京駅の丸の内周辺施設を中心として、PR活動やリアルイベントを連続的に実施するプロモーションを行い、首都圏での福井県および北陸新幹線開業の認知度向上を図る。											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東圏の新聞、駅等において、ビジネスパーソンに対して新幹線開業カウントダウンをPR ・ 東京駅の丸の内周辺のビル等において、民間と連携し、都心のビジネスパーソン等に対して、最長1カ月の連続的な観光物産プロモーションを実施 <p>(1) 新聞、電車および駅におけるPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京駅等の主要駅においてポスターの集中掲出 ・ 首都圏向けPRポスター作成 ・ 関東圏の新聞において観光物産プロモーションを告知 ・ 首都圏の主要駅等において開業PR動画放映 <p>(2) 丸の内周辺のビル等における観光物産プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸の内周辺のビル等において、イベント開催、物産販売、食体験等を連続的に実施 ・ 丸の内に本社等があるつながりある企業でのコラボイベントも実施 											
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス—活動調査)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	68,309					68,309										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移							68,309									
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	福井の認知度（全国順位）	(目標) 実績		(42) 44	(40) 45	(36) 45	(900)	(2,000)	(2,000)	「地域ブランド調査」における認知度						
活動指標	観光物産イベントへの来場者数	(目標) 実績					(10,000)			都心のビジネスパーソン等に対して福井の「本物」を訴求						
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

北陸新幹線を活用した旅行商品造成・PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4年度 経過年数 1年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6年度	R6年度
事業実施方法	直営										
補助率											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線金沢開業により首都圏から福井への観光入込客数は増加している(R1: 801千人)が、福井・敦賀開業に向けてさらなる誘客を図る必要がある。首都圏からの観光客数を、中京地区からの観光客数と同程度への拡大(2,000千人)を目指す。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人(R2)					
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、北陸新幹線を活用し、首都圏と福井県を結ぶPR事業を実施することで、本県の魅力と県内延伸により移動時間が短縮されることを同時にPRし、誘客促進を図る。											
[事業内容] 大人の休日倶楽部とタイアップした首都圏での福井県講座および体験旅行プランの企画実施事業 ・首都圏において、福井県の伝統や文化などを学べる「趣味の会講座」を実施。講座において学んだことを実際に体験する「趣味の会旅行」実施により、開業後の再訪を促進 ・実施にあたっては、富裕層の利用の多い、JR東日本が会員向けに発行する「大人の休日倶楽部」を活用。年配層を対象に福井県の情報発信を行う。											
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	富山県 「JRタイアップ商品造成・広告事業」(JR会員誌を活用した旅行商品造成事業)				

北陸新幹線を活用した旅行商品造成・PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4年度 経過年数 1年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,998				9,998							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						9,998						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	関東地区からの観光客入 込数(千人)	(目標) 実績	760 801	391		(900)	(2,000)	(2,000)	北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を81万人(R元)から200万人(R5)に増やす			
活動指標	キャンペーン招致件数	(目標) 実績				(2)			県外企業が実施する観光キャンペーンを年間2件招致し、キャンペーンを通じた認知度向上を図る。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を81万人(R元)から200万人(R5)に増やす								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた県内企業等と連携した機運醸成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線金沢開業により首都圏から福井への観光入込客数は増加している(R1:801千人)が、福井・敦賀開業に向けてさらなる誘客を図る必要がある。首都圏からの観光客数を、中京地区からの観光客数と同程度への拡大(2,000千人)を目指す。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人(R2)						
[事業目的] 北陸新幹線県内開業に向けて、県内企業等と力を合わせたチーム福井により、県民参加型の事業を展開し、県内等の機運醸成を図る。												
[事業内容] (1) 県民参加型情報発信事業 ① 県民メッセージ時計事業 ・ 県内各地で県民が新幹線開業のメッセージを持った動画等を撮影 ・ 撮影した動画等をつないで24時間時計とし表示し、県庁HP、駅、TV、ハピリン等に掲出 ・ 開業1年前にあわせて県民時計お披露目、県民フォーラムを開催 ② 開業ドラマ制作事業 ・ 開業1年前の放送に併せて、開業に関するドラマを制作し、県内で放送、全国に配信 ・ 県内企業の協賛を得て、社員、社屋等がドラマ内に登場するとともに、テレビ番組内で主演の発表、ロケ地・撮影の様子を紹介し、機運醸成 ③ 県民の新幹線および地域の魅力発見事業 ・ 県民からの新幹線の疑問や地域の魅力をSNSを通じてアンケートし、結果を発信 ・ 小学生高学年によるインタビュー記事や地域ブランディング・デザインの大切さをテーマにしたセミナーを開催 (2) 県民参加型イベント事業 ブロック恐竜制作・展示事業 ・ 本県のブランドの恐竜をブロックにより再現、制作し、JR福井駅等に展示 ・ 県民にブロックの提供の協力を呼びかけ、ワークショップにおいて共同でブロック恐竜の一部を制作												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた県内企業等と連携した機運醸成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営									経過年数		
補助率										1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	39,902				39,902							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						39,902						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	関東地区からの観光客入込 数(千人) (目標) 実績	760	801	391	(300)	(900)	(2,000)	(2,000)	北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を81万人(R元)から200万人(R5)に増やす			
活動指標	県民参加のイベント等回数 (目標) 実績					(9)			県民の開業に向けた機運を醸成する			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸三県連携誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会（仮）、県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	〔 3 楽しみを広げる（創造力） 〕			関連する県の計画等		〔 F I R S T 2 9 1 ～北陸新幹線開業プラン～ 〕					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍前と比べ、R3年度の首都圏からの来県者減少が見込まれる 北陸という地理的優位性を活かしてPRするため、北陸三県が連携し首都圏から の誘客を促進する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] R3年県内主要観光地入込数（R1比）【R3.1月～8月】 ⇒1,651,955人（41.7%）						
[事業目的] 北陸三県が連携し、「北陸」をテーマとした観光素材の開発や周遊観光を促進するとともに、首都圏や関西圏等での共同プロモーションを実施する。												
[事業内容] (1) 観光誘客促進事業 ・「北陸」をテーマにした民間の観光キャンペーンと連携 （想定：令和4年上期 阪急交通社キャンペーン 令和4年下期：近畿日本ツーリストキャンペーン「ニッポン旅列島」） ・三県で観光素材の開発や周遊観光を促進 ・大手旅行会社の観光キャンペーンと連携し、旅行パンフレットでのPRなど、三県共同で広報展開 (2) 共同プロモーション事業 ・関西圏等において、マスメディアに対して北陸の観光素材や魅力をPR ・メディアへの共同訪問、三県の旬な取材候補地、観光素材のリストを作成し、提供												
[受益者] 観光事業者（宿泊業、飲食、サービス業）						[想定される受益者数] 5,288事業所（H28経済センサス—活動調査）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県、石川県も同額を負担					

北陸三県連携誘客促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	北陸三県連携観光誘客協議会（仮）、県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	17,000					17,000						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						17,000						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	関東地区からの観光客入 込数(千人)	(目標) 実績	760	801	391	(900)	(900)	(2,000)	(2,000)	北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を80万人(R元)から200万人(R5)に増やす		
活動指標	キャンペーン招致件数	(目標) 実績				(2)				県外企業が実施する観光キャンペーンを年間2件招致し、キャンペーンを通じた認知度向上を図る。		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたふくいブーム創出事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	小野田 謙一			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]					関連する県の計画等	[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題] 3年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国45位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 45位 (R3)									
[事業目的] 首都圏における本県の認知度を高め、ふくいファンを拡大・確保するため、福井の魅力・イメージを発信することにより、新幹線開業に向け、継続的な誘客促進を行う。															
[事業内容] (1) 羽田空港との連携プロモーション事業 ・ 旅行客が多く集まる羽田空港において福井県のプロモーションを実施 ・ 福井ならではの恐竜や越前がになどの「良いもの」、「本物」を展示し、認知度を向上 (2) 福井県情報のインターネット記事掲載・配信事業 ・ 首都圏の若年層・ファミリー層に好まれる福井県のご当地情報を取材し、福井県の認知度向上に向けた、一ひねりあるインターネット記事を掲載するとともに、イベント情報も同時に告知 (3) ユーチューブを活用した福井の観光動画配信事業 ・ 福井県の観光コンテンツとした、知的好奇心や体験意欲を高める動画(3～5本)を制作し、WEBユーザーに動画を配信・本県出身の俳優等を起用し、方言による県内歴史遺産等紹介動画を作成し配信。 (4) 「ZEN」魅力発信事業 ・ 大本山永平寺と連携し、「ZEN」をPRする小冊子を制作し、首都圏や県内観光案内所において配布															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・ 日本橋・京橋祭への参加 富山県 ・ とやまWeek in 東京								

北陸新幹線開業に向けたふくいブーム創出事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営								経過年数	3 年		
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	59,418				59,418							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			103,654	105,728	59,418	キラーコンテンツ事業の廃止により事業費が減額						
2月現計予算額の推移			93,181	64,132								
決算額の推移			92,226									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	福井の認知度（全国順位） （目標） 実績	(42) 44	(40) 45	(36) 45	(36)	(20)	(20)	「地域ブランド調査」における認知度				
活動指標	SNS等での情報発信回数 （目標） 実績		25 27	22 30	15			ユーチューブ動画やインターネット記事などのSNSでの情報発信回数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
R3年度実績 ○インターネット記事配信 記事配信回数：5回 ○YouTube 動画制作本数：広告配信用動画7本、本編動画7本、インフルエンサー動画5本、 動画コンテスト動画6本 広告視聴回数：300万回			各事業、福井県の認知度を高めたという数値を示すことができたが、R4年度以降は興味関心及び誘客喚起を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	46,310		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

北陸新幹線沿線エリアでのPR強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体		県、(公社) 福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291~北陸新幹線開業プラン~]					
[解決すべき問題・課題] R3年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国45位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 45位 (R3)						
[事業目的] 首都圏や北陸新幹線沿線エリアにおいて、出向宣伝やPRイベントの実施、沿線の自治体と連携した誘客活動を実施する												
[事業内容] (1) 首都圏出向宣伝事業 ・ JR上野駅、JR大宮駅等での大型広告掲出や出向宣伝等のプロモーション活動を実施 JR上野駅：7月に夏休みの旅行を意識した恐竜をメインにした出向宣伝 JR大宮駅：1月に越前がになどの食や温泉を意識した出向宣伝 JR長野駅：海や海産物をメインにした出向宣伝 (2) 福井ゆかりの地のイベント事業 ・ 小浜藩ゆかりの新宿区神楽坂で開催される地域イベントに、本県の伝統芸能の実演やPRブースを出展するなど、ゆかりの地を活かしてPR活動を実施 (3) JR主要駅へのポスター掲出事業 ・ JR東日本管内の主要駅(約120駅)において、本県のポスターを年4回(1週間/回)掲出し、本県の観光イメージをPR (4) 水仙を活用した観光PR事業 ・ 水仙をモチーフとしたノベルティグッズを制作し、出向宣伝等で活用することにより、本県の冬の観光の魅力を発信												
[受益者]	観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)					[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸三県共同観光客誘致拡大事業 (役割分担) 上記事業は、JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPR。 本事業は、本県単独での観光プロモーションを実施				
市町との連携状況	・ 出向宣伝等への共同参加					他県の状況		【北陸新幹線開業前の富山県、石川県の主な事業】 富山県 北陸新幹線の首都圏PR JR駅でのとやまPR誌の配架 「とやまで休もう。」首都圏キャラバン 石川県 いしかわ百万石物語 日本橋・京橋まつり 首都圏の鉄道事業者とのタイアップによる観光PR				

北陸新幹線沿線エリアでのPR強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一		
事業主体	県、(公社) 福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	35,653				35,653								
[予算額の推移等] (単位: 千円)													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			36,092	36,092	35,653	BCリーグを活用したPR事業について、リーグの変更により廃止としたため減額。 長野駅での出向宣伝を追加したため全体としては増額							
2月現計予算額の推移			23,204	31,932									
決算額の推移			22,706										
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	関東地区からの観光客入 込数(千人)	(目標) 実績	760	801	391	(900)	(900)	(2,000)	(2,000)	北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を80万人(R元)から200万人(R5)に増やす			
活動指標	首都圏における出向宣伝	(目標) 実績	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(3) 2			上野駅、大宮駅、長野駅(R4年度~)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
コロナ禍において、関東地区からの観光客入込客数は減少した。一方で、デジタルサイネージを活用したプロモーションを実施することにより活動指標は達成した。 R2年度出向宣伝参加人数(立ち止まって観覧した人数) 上野駅: 3,395人 大宮駅: 2,859人				R3年度は非接触型のプロモーションがメインだったが、R4年度はより集客力のあるステージなどでのプロモーションを実施していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	439	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

北陸新幹線開業に向けたメディアプロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	小野田 謙一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R3年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国45位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 45位 (R3)									
[事業目的] 首都圏メディアに対し、本県の誇る「本物」情報をメディアが利用しやすい形に加工した上で提供することにより、本県の認知度を高め、関係を強化するとともに、本県情報の露出拡大を図る。															
[事業内容] (1) 首都圏メディアへのPR・招致活動事業 ・福井の地域資源に関する情報のメディア訪問による提供、メディアによる本県取材の働きかけ、メディアのニーズ調査などを実施 ・メディアにおける露出拡大のため、首都圏のメディア関係者の福井への招致拡大 (2) 首都圏における福井県「ミステリアスニュース」広告事業 ・東京新聞の4月1日のエイプリルフール企画にひねりのある広告を掲載することにより、福井県の特長を強調し、首都圏在住者に対し本県の認知度向上を図る。あわせてSNSで情報が拡散するよう、ウェブ上へも掲載する。															
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所 (H28経済センサス—活動調査)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線開業に向けたメディアプロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			3 年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	39,700	19,850			19,850		地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				37,870	37,840	39,700	首都圏における福井県「ミステリアスニュース」広告事業実施のため増額								
2月現計予算額の推移					34,745										
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	関東地区からの観光客入込数(千人)	(目標) 実績	760 801	391	(300)	(900)	(2,000)	(2,000)	北陸新幹線開業時に関東地区からの観光客を80万人(R元)から200万人(R5)に増やす						
活動指標	取材招致件数	(目標) 実績		27	(24)	(24)						首都圏メディアの県内取材を年間24件招致し、メディアを通じた認知度向上を図る			
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、関東地区からの観光客入込客数は減少した。 ・一方で、首都圏メディアの県内取材招致については、目標を上回り、首都圏や首都圏のキー局、大手雑誌社等を通じて、全国に福井県の観光の魅力を発信することができた。 								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

開業直前イベント開催検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一						
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度					
事業実施方法	委託																
補助率																	
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等			[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]									
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]											
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げる必要。						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)											
[事業目的]																	
100年に一度の新幹線開業を祝い、県内の機運を最大限に高めるための大規模な県民参加型イベント (R5年開催) の開催準備を行う。																	
[事業内容]																	
<p>令和5年度の開業直前に実施する、大規模な県民参加型イベントの実行プラン (実施計画、運営計画、広報計画) の作成 (想定イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の試走時 (令和5年秋頃) を活用し、県民が多数参加し、まちに待った新幹線車両を盛大にお迎えし、開業と新たな福井の門出を祝うお祭りイベントを開催 ・また、県内メディアが共同で参加者募集イベントや当日のライブ放送を行うなどにより、県内全域を一体感を持ったお祭りムードにするとともに、開業前後にテレビCMやSNSで動画を全国発信し、県内外の開業機運を最大限に高める。 ・JR西日本コミュニケーションズおよび県内メディアの企業共同体に委託 <p>(想定スケジュール)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">R4年春：実行委員会立ち上げ</td> <td style="width: 50%;">R4年秋：実行プラン (実施計画、運営計画、広報計画) 策定</td> </tr> <tr> <td>R5年夏：メディアでイベント広報、参加者募集</td> <td>R5年秋：イベント実施</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R6年春 (開業前後)：動画をテレビCMやSNSで全国配信</td> </tr> </table>												R4年春：実行委員会立ち上げ	R4年秋：実行プラン (実施計画、運営計画、広報計画) 策定	R5年夏：メディアでイベント広報、参加者募集	R5年秋：イベント実施	R6年春 (開業前後)：動画をテレビCMやSNSで全国配信	
R4年春：実行委員会立ち上げ	R4年秋：実行プラン (実施計画、運営計画、広報計画) 策定																
R5年夏：メディアでイベント広報、参加者募集	R5年秋：イベント実施																
R6年春 (開業前後)：動画をテレビCMやSNSで全国配信																	
[受益者]						[想定される受益者数]											
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)										
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の実施する会議には、市町も参画。 ・イベントの際には、学校等の団体への参加呼びかけ、撮影スポット選定の協力を依頼。 					他県の状況	石川県 (場合によっては富山県) との共同開催も検討										

開業直前イベント開催検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											経過年数		
補助率												1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,000					2,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						2,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標) 実績			(70%) 62%	(75%)	(90%)	(90%)	(100%)	R元年度の認知度：64%					
活動指標	イベント参加(申込)者数 (目標) 実績							(10,000)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

魅せる開業PR装飾事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(想像力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内開業機運を盛り上げる必要。						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)									
[事業目的]															
開業1年前カウントダウンイベントが開催されるタイミングに合わせ、SNSで発信したくなるような映える仕掛け広告で県内主要駅を装飾することにより、開業機運の盛り上げを最大化する。															
[事業内容]															
<p>地味にすごい福井の技術を活用した、映える仕掛け広告(看板、のぼり旗)により、県内主要5駅を装飾。県内開業機運を盛り上げるとともに。SNSでの爆発的な話題拡散(バズらせる)を狙う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業1年前となる令和4年3月に、県内企業の持つ日本唯一のすごい技術を活用した、わざわざ見に行きたくなる、写真を投稿したくなるような仕掛け広告により県内主要駅(新幹線開業駅)を装飾し、1年後の福井・敦賀開業をPRする。 ・駅設置市やJR西日本が駅周辺で開催するカウントダウンイベントと時期を合わせることで、相乗効果を図る。 ・ライトを照射すると7色に光り、PRロゴマークなどの模様が浮き出る不思議な看板やのぼり旗を各駅10か所程度、1か月間掲示する。見た人がフラッシュ撮影や動画で撮影し、SNSへ投稿、拡散したくなる仕掛けとすることで、爆発的な話題拡散(バズらせる)を狙う。 ・掲出箇所: JR5駅(芦原温泉駅、福井駅、鯖江駅、武生駅、敦賀駅) 															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新幹線開業カウントダウンイベント開催事業 (役割分担)								
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・駅設置市が駅周辺で開催するカウントダウンイベントと時期を合わせることで、相乗効果を図る。 ・県は統一的な看板やのぼり旗を掲出し、各駅のイベントに一体感を持たせる。 					他県の状況									

魅せる開業PR装飾事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	8,575				8,575											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						8,575										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標) 実績			(70%) 62%	(75%)	(90%)	(90%)	(90%)	R元年度の認知度：64%							
活動指標	看板掲出箇所数 (目標) 実績					(50)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「福井駅観光案内所（仮称）」情報提供体制強化検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	福井市				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金								経過年数	1 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
「現地で良い観光情報を入手できた」と考える観光客の割合が全国最下位であるため、観光案内所において質の高い情報提供ができる体制を構築する必要がある。						「現地で良い観光情報を入手できた」と考える観光客の割合：47位 (じゃらん宿泊旅行調査2021)						
[事業目的] 民間調査で本県は「現地で良い観光情報を得られる」評価が最下位であることから、DX等の最新技術を活用した情報提供などの体制強化に向けた検討や、顧客満足度の高い他県の観光案内所の先進的な取組みを研究することにより、R6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業時に運営を開始する「福井駅観光案内所（仮称）」が、現地で良い観光情報が得られる場所として全国で高評価が得られることを目指す。												
[事業内容] (1) リアルタイムで入手可能かつ高機能な観光情報提供体制の構築 ・ 県内主要観光地の混雑状況や当日利用可能な各種アクティビティ情報、イベント情報を一元的に把握し、他案内所でも同じ情報を観光客に提供可能となる機能および実装方法を検討 (2) 誰もが足を運びたくなる観光案内所となるためのサービス向上の取組み ・ 観光案内所レイアウトデザインおよび運営業務マニュアルの作成												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・ 福井市とともに、必要な機能について検討中					他県の状況						

「福井駅観光案内所（仮称）」情報提供体制強化検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	福井市				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度（見直し年度）
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			■ 補助金		経過年数	
補助率	1/2								□ その他		1 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	525				525							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						525						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	現地で良い観光情報を入手できた（順位）	(目標)					(30)	(10)	中間目標は福井駅観光案内所（仮称）オープン後の6年度、最終目標は5年後の10年度のじゃらん宿泊旅行調査結果			
活動指標	送客実証事業開催回数	(目標)				(4)			実証事業の効果を踏まえて、今後の実施について検討			
実績												
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一			
事業主体		県、（公社）福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営			■ 補助金					□ その他					
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]							
	政策	[10 北陸新幹線開業効果を最大化]												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」の着実な進捗とともに、時宜に応じた適時適切な見直しを行い、新幹線開業効果の最大化を図る必要がある。						福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)								
[事業目的] R5年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業に当たり、新幹線4駅を中心に統一コンセプトによる開業記念イベントを開催し、市町の観光商品造成に対して支援をすることにより、誘客を促進し開業時の効果を最大限に高める。また、効果的なプロモーションおよび受入環境のレベルアップの具体的施策にかかる「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」を進捗管理し、着実に新幹線開業施策を進める。														
[事業内容] (1) 北陸新幹線開業記念イベント「ウェルカムイベント」の開催準備 R6年春頃、新幹線4駅（芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅、敦賀駅）を中心に統一コンセプトによる開業記念イベント「ウェルカムイベント」を開催するため、県および市町等において検討会を開催し、実施計画を策定 (2) 市町の観光商品造成支援 (公社)福井県観光連盟が実施する市町と旅行会社との観光商品造成に関する情報交換会を支援 (3) 「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」の進捗管理 進捗管理に当たっては、推進会議を開催（年1回）。 その他関係事業者や有識者等からも意見を個別に聴取、新幹線開業対策アドバイザーから助言を受け、効果を高める方法を検討														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 (役割分担)		新幹線開業カウントダウンイベント開催事業						
市町との連携状況	・市町担当課長会議を3回開催、新幹線開業駅4市町とのイベント検討会を1回開催した。											他県の状況		

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,474	317			2,157	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			8,728	3,074	3,074	2,474	開業アドバイザー報償費を見直し					
2月現計予算額の推移			8,728	3,074	3,074	2,474						
決算額の推移			7,989									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)		(13,000) 実績 18,095	(17,500) 11,706	(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	令和6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	検討会議開催数		(3) 実績 3	(3) 5	(3)	(3)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
コロナウイルス感染症の影響から県外観光客の減少が大きく、成果指標は前年度を下回る実績となった。				開業アドバイザー報償費の見直しに伴う減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	600	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ご当地コレクションカードによる誘客・周遊促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体		県、民間			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法		直営、補助		経過年数					2 年			
補助率		1/3										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>本県を訪れる観光客の約半数が、日帰りや県外宿泊となっており、更なる観光消費を増やすため、滞在時間の伸長が課題となっている。</p>						<p>R2年度 LOGe t! CARD配布アンケート(一乗谷朝倉氏遺跡資料館) 県外来館者7,609人のうち、51%が県内宿泊だが、16%が県外宿泊、33%が日帰り</p>						
[事業目的]												
<p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、観光客がカード収集をきっかけに県内一円を周遊できる体制を構築し、新たな観光の楽しみ方を提供することにより、誘客の促進およびカードを通じた観光地等の認知度向上を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>9割超の観光客が県内周遊に有効と回答した「LOGe t! CARD」を県内各地で発行するとともに、その他のご当地コレクションカードも巻き込んだ福井オリジナルな収集の楽しみ方を付加価値として提供することにより、県内での周遊を図る。</p> <p>(1) 「LOGe t! CARD」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の誘客施設や県を代表する観光スポットについて、カードの発行を継続 ・ アイデアコンテスト補助金等を活用し、各市町観光スポットの「LOGe t! CARD」の発行を促進 <p>(2) 民間での「LOGe t! CARD」発行を促すための補助制度の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間観光施設：3施設程度 ・ 補助率：1/3(初版5ロット；1万枚を上限に1回限り) 												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 政策トライアル枠予算 (実績) ・ LOGe t! CARDの発行：2種類(一乗谷朝倉氏遺跡・年縞博物館) ・ 配布枚数(一乗谷朝倉氏遺跡)：9,196枚(R3.3末)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業 (役割分担) アイデアコンテストで得られたアイデア(カードの発行を含む)の実現を行う市町に対し支援				
市町との連携状況	アイデアコンテスト実行支援事業を活用したカードの発行の働きかけ					他県の状況						

ご当地コレクションカードによる誘客・周遊促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一			
事業主体	県、民間				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,174					2,174								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					2,751	2,174								
2月現計予算額の推移					1,060									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	LOGe t!CARD配 布枚数(単年) (目標) 実績			(2,000) 9,196	(14,000)	(24,000)	(34,000)	(34,000)	2,000枚/種類					
活動指標	LOGe t!CARD配 布種類(累計) (目標) 実績			(1) 1	(7)	(12)	(17)	(17)	北陸新幹線福井・敦賀開業時に1市町1程度					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
R2年7月に発行した一乗谷朝倉氏遺跡のカードは、大河ドラマ効果やGoToトラベル事業などの効果も相まって、9か月間で目標を大幅に超える1万枚近くを配布した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	小野田 謙一
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向け、県内の開業機運の盛り上がりや、観光コンテンツの造成、プレイヤーの育成等により、観光誘客の最大化を図るため、市町・民間の取組みを継続して支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 1,171万人 (R2)						
[事業目的] 全国から募集した新幹線開業効果を高める優れたプロジェクトのアイデアやプランの実行を支援することにより、県内外での新幹線開業に向けた機運醸成を図る。												
[事業内容] (1) 優れたアイデアの実行支援 優れたアイデアの実行に取り組む市町を支援する。 ・実施主体 市町 ・補助率 県1/2、市町1/2 (2) 優れたプランの実行支援 優れたプランの実行に取り組む民間団体やグループ(以下、「事業者」)を支援する。 ・実施主体 福井県内の事業者 ・補助上限額 5,000千円/年・事業者 ・補助率 県2/3、事業者1/3												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 “ワクワク・ドキドキ” 新幹線開業アイデアコンテスト開催事業 (実績) < “ワクワク” アイデア部門 > 286件 < “ドキドキ” プラン部門 > 34件				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】R3当初予算 民間主体の先導的な取組に対する支援 59,000千円				

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助									経過年数		
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3									3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	55,606	27,803			27,803	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			536	80,000	61,107	55,606						
2月現計予算額の推移			536	31,185	36,396							
決算額の推移			451	27,275								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)	(13,000)		(18,000)	(18,500)	(20,000)	(20,000)	R6年目標値 20,000千人(ふくい観光ビジョン)			
		実績	16,969	18,095	11,706							
活動指標	補助件数	(目標)		(22)	(23)	(23)			市町・事業者事業取組み団体数			
		実績		17								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
コロナ禍に見舞われ、観光需要が大幅に落ち込むとともに、民間団体が計画していたイベント等の開催が予定通り進まなかった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたふくいみやげRe:デザイン事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	小野田 謙一			
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助														
補助率	10/10														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題] 民間調査によると、本県の「魅力のある特産品や土産物が多かった」と回答する宿泊旅行者割合が、全国でも下位(30位)にあり、旅行の思い出として持ち帰る土産品・特産品の魅力向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査2021 「魅力のある特産品や土産物が多かった」 福井県30位									
[事業目的] 新幹線開業に向け、福井のお土産がより魅力的なものとして、多くの消費者から選ばれるようにするため、パッケージ開発から販売に至るまで、デザイン思考を取り入れ、人気土産をリデザインする。															
[事業内容] 「旅の風景を切り取り、土産に乗せて持ち帰る」をコンセプトに、県内女性がお勧めする20種類の菓子類を皮切りに開発された「キリトリップ」の裾野をさらに広げることにより、土産を通じた交流人口の拡大を図る。 (1) 「キリトリップ」販路の拡大 ・ 県内販売店舗拡大(駅、道の駅、観光地周辺等)に向けた交渉を実施 ・ 県内外から集客が見込まれる県内での展示会やコンサートイベント等、出展範囲を拡大 ・ 県外でのトライアル販売(ふくい南青山291等)を実施し、販売結果の検証および商品改良等を実施 (2) 「キリトリップ」ブランド周知のためのプロモーション ・ SNS(Instagram、Facebook)運用による継続的なプロモーションを実施 ・ キリトリップという「モノ」から福井のファンとなる「ヒト」を生み出す生産者ツアー等の造成・実施 (3) 持続可能な実施体制の構築と自走に向けた交渉 ・ 商標権に基づく売上高に応じたロイヤリティ等、将来的な自走の仕組みとなる収益モデルを構築 ・ R5年度からの自走を目指し、各設定の見直し、取扱商品数の増大、販売期間の延長等を実施 ・ 収益モデル、販売スキーム等をまとめた引継ぎ資料を作成し、自走候補主体への事業引継ぎ交渉を実施															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 産業デザインプロデュース事業 (役割分担) 具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した専門家を派遣する。指導内容は、ブランディング等のプロデュースに重点を置くが、企業の課題に応じ、商品や販促ツール等のデザインについても指導を行う。 上記事業は個別企業を対象としているが、本事業は県内土産物製造企業全体を対象としたパッケージ等の検討を行う。								
市町との連携状況					他県の状況		じゃらん宿泊旅行調査2021 「魅力のある特産品や土産物が多かった」 石川県3位、富山県19位								

北陸新幹線開業に向けたふくいみやげRe:デザイン事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,334	4,167			4,167	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		/	/	5,990	5,869	8,334	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのトライアル販売を実施 ・生産者ツアー等の造成・実施 ・R5自走に向けた収益モデル事業引継ぎ交渉の実施 					
2月現計予算額の推移		/	/	5,990	5,869							
決算額の推移		/	/	5,990								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	キリトリップ取扱店舗数 (目標) 実績			(1) 3	(7)	(15)	(15)	(40)	開業年度には新幹線駅4駅+観光地・宿泊施設土産店等+道の駅			
活動指標	キリトリップ対象商品数 (目標) 実績			(20) 20	(20)	(20)	(20)	(40)				菓子類20品、加工品類20品
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度に菓子類20品目でトライアル販売を実施したが、実施結果を踏まえ10品目に厳選 ・加工品類を新たに10品目選定 								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

新幹線開業に向けた観光情報デジタル化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 県内観光施設や店舗の情報など、旅行者が旅ナカで必要とする魅力的な情報がインターネット上に少なく、誘客に結び付いていない。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査 (R3年発表) 現地で良い観光情報を入手できた 18% (全国47位)						
[事業目的] 観光客が“旅ナカ”で欲しい情報を入手できるようにするには、県内の観光関連事業者が観光客にデジタル情報を発信することが重要である。よって、県内観光関連事業者を主な対象として、政策誘導に繋がるセミナーを実施し、観光情報デジタル化の取り組みを推進する。												
[事業内容] 観光情報デジタル化セミナーの開催 ・実施日：9月以降 (じゃらん宿泊旅行調査の結果を反映) ・内容案：福井県に足りていない観光情報 地域別の取り組むべき施策 など ・実施方法：リアルとウェビナーのハイブリット方式												
[受益者] 観光関連事業者」など						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線開業に向けた観光情報デジタル化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金				
補助率								□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	990		495			495		地方創生推進交付金				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			/	/	2,510	2,044	990	セミナー開催費用の精査				
2月現計予算額の推移			/	/	2,510	2,044						
決算額の推移			/	/	2,215							
前年度までの 主な増減理由	セミナー開催費用の精査による減											
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	現地で良い観光情報を入 手できた(単位：%)	(目標) 実績		20	18	(20)	(22)	(24)	(24)	じゃらん宿泊旅行調査(R3年発表) 現地で良い観光情報入手できた 18%(全国47位) ※前年度の宿泊旅行に関するアンケートを元に発表		
活動指標	デジタル化セミナー開催 数	(目標) 実績			(1) 2	(1)	(1)	(1)	(1)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
じゃらん宿泊旅行調査の結果も踏まえて、観光情報のデジタル化も含めた「旅ナカにおける観光情報発信セミナー」を3月に開催予定					ウェビナーを活用することで事業費を精査				<input type="checkbox"/> 拡充	■ 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,054
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ガイドングツアー造成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	
事業実施方法	補助金										
補助率	定額										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]	政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
観光客の満足度向上のため、より質の高いガイドングを提供できる有料の着地型商品造成が必要である。						じゃらん宿泊旅行調査結果 福井県旅行者の満足度と全国順位 ・地元の人ホスピタリティを感じた 45位 ・現地で良い観光情報を入手できた 47位					
[事業目的]											
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内ボランティアガイドや観光ガイド団体などを対象に、県内外でまち歩きやアクティビティ（サイクリングやトレッキング等）のガイドングツアー造成に成功している方を講師に迎え、セミナーやワークショップを行うことにより、県内ガイドングツアーの造成を図る。											
[事業内容]											
(1) 有料のガイドング実施に意欲のある団体・個人を対象に、ガイドングツアーを実施するための基本的な内容について講義形式で実施 (2) 有料の観光ガイドを行う上でのポイント、料金設定について考えなければならないことなど、具体的に有料のガイドングを実施する上で必要なことをワークショップ形式で実施するとともに、実際の活動（予定）地域で、講師およびワークショップ参加者等に向けてガイドを行う。 (3) 実際の観光客に向けてガイドングツアー実践 ゼロ予算 上記(1)～(3)をまち歩き部門・アクティビティ部門に分け1回ずつ実施											
[受益者] 福井県への観光客						[想定される受益者数] 1,171万人 (R2年観光客入込数)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

ガイドングツアー造成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	定額								<input type="checkbox"/> その他		1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,119					4,119							
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						4,119							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客の満足度 (目標) 実績					(60)	(60)	(60)	(公社) 福井県観光連盟実施 「福井県来訪者の満足度調査」における福井県旅行の満足度				
活動指標	ガイドングツアー造成数 (目標) 実績					(10)	(10)	(10)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

県民参加型新幹線開業実感イベント開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向けた県民の機運醸成が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)						
[事業目的] 北陸新幹線開業まで2年を切り、県民の新幹線開業に対する期待感や熱量をさらに増大させるため、県民参加型のイベントを開催し、開業を実感し身近に感じることが出来る形で機運醸成を図る。												
[事業内容] 新幹線開業カウントダウンイベントとして、北陸新幹線県内沿線延長 (74.4 km) を踏破する大規模なウォーキングイベントを開催する。 ①リレーウォーキングの部 (600人) 実施内容: 石川県境から北陸新幹線敦賀駅までをリレーウォーキングで繋ぐ 実施時期: 9月のシルバーウィークを中心に6日間程度 (土日祝) 参加者: 県内から約240家族を募集し、リレー形式で沿線を歩き、トーチ等をつなぐ ※約1km×3家族/区間 (1家族平均2.5人) ×80区間 ②自由参加の部 (1000人) 実施内容: ウォーキングアプリを使用し、期間内に74.4km以上を歩いた人に完歩証を出す 実施時期: リレーウォークと同時期に実施し、イベント規模を大きくし、県民全体で機運醸成を図る ③レクリエーションの部 (1000人) 実施内容: 新幹線駅4駅を基点として、チェックポイント (駅や観光地) を一定数回った人に参加賞を出す 実施時期: リレーウォークと同時期に実施し、イベント規模を大きくし、県民全体で機運醸成を図る												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

県民参加型新幹線開業実感イベント開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	14,471		7,235			7,236		地方創生推進交付金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移							14,471									
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	開業時期の認知度 (%)	(目標) 実績			(70%) 62%	(75%)	(90%)	(90%)		令和元年度の認知度：64%						
活動指標	イベント参加(申込)者数	(目標) 実績					(2,600)									
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

新幹線開業カウントダウンイベント開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	
事業実施方法	直営										
補助率											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)]										
	政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
新幹線開業に向けた県民の機運醸成が必要						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)					
[事業目的]											
北陸新幹線開業まで2年を切り、県民の新幹線開業に対する期待感や熱量をさらに増大させるため、新幹線駅の設置市と周辺市町等と連携した節目イベントへの支援を行う。											
[事業内容]											
1 補助対象者 新幹線駅の設置市が中心となって周辺市町などと構成する実行委員会等 2 補助対象事業 補助対象者が開催するカウントダウン(節目)イベント ただし、1年前開業プレイベントは必須開催とする。 3 補助率等 1/2 (補助上限: イベント開催5,000千円)											
[受益者]						[想定される受益者数]					
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況						他県の状況					

新幹線開業カウントダウンイベント開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,000		10,000			10,000		地方創生推進交付金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						10,000	20,000	R3年度は2年前イベントのみを補助対象としていたが、令和4年度は芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅が夏頃に完成するなど節目となるイベントが増えることが想定されるため、補助額を拡充する。						
2月現計予算額の推移						10,000								
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	開業時期の認知度 (%)	(目標) 実績			(70%) 62%	(75%)	(90%)	(90%)		令和元年度の認知度：64%				
活動指標	4市でのイベント開催数	(目標) 実績				(4)	(8)							
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
R4年3月に新幹線駅設置4市にて、開業2年前イベントを実施。					R3年度は2年前イベントのみを補助対象としていたが、R4年度は芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅が夏頃に完成するなど節目となるイベントが増えることが想定されるため、補助額を拡充する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
									□ 継続	□ 休止	□ 完了			
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

新幹線開業おもてなしオンラインセミナー事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一
事業主体	県観光連盟				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	R6 年度
事業実施方法	補助										
補助率	10/10										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]					
[解決すべき問題・課題] 民間調査によれば、観光客が本県旅行中にホスピタリティを感じたという割合は低く、新幹線開業に向けておもてなしレベルを上げることが喫緊の課題である。アフターコロナの社会情勢を鑑み、いつでもどこでも手軽におもてなしについて学ぶことができる環境が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査結果 福井県旅行者の満足度と全国順位 ・地元の人ホスピタリティを感じた 45位 ・現地で良い観光情報を入手できた 47位					
[事業目的] 観光事業者のおもてなしレベルの向上など受入体制の強化を図るとともに、県民一人ひとりが県の魅力を理解し、来県者に誇りを持って発信できるよう、アフターコロナに対応した、誰もが何度でも参加できるオンラインでの観光おもてなしセミナーを開催する。											
[事業内容] 県観光連盟HPにおいて、誰もが無料で何度でも視聴できるおもてなしオンラインセミナー動画を配信											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 76万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

新幹線開業おもてなしオンラインセミナー事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	2,318					2,318						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						2,862	2,318	チラシ制作費の削減				
2月現計予算額の推移						2,862						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	動画視聴回数	(目標) 実績				(7,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	令和2年度「おもてなし向上オンライン研修」の申込実績		
活動指標	動画掲載本数	(目標) 実績				(15)	(5)	(5)	(5)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
R3新規掲載動画 19件 (委託業者制作11件、連盟自主制作8件) R3総再生回数 6,201回 (R3年4月～R4年2月中旬時点)					チラシ制作費の縮減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	544
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

SNSを活用した福井ファン拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	一、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県宿泊旅行者全体に占める若年女性(20~34歳)の割合(6.9%)は全国平均(11.6%)よりも低く、若年女性への訴求力の弱さが課題である。 ・ インスタグラム上の「#福井観光」「#福井女子旅」など旅を想起させる投稿件数が他県よりも少ない現状にある。 						インスタグラム上の「#〇〇観光」「#〇〇女子旅」投稿件数 #富山観光 56,000件 #富山女子旅 174件 #金沢観光 120,000件 #金沢女子旅 12,000件 #福井観光 33,000件 #福井女子旅 3,143件						
[事業目的]												
(1) 北陸新幹線の県内開業に向け、インスタ映えに対する親和性が強い若年女性の来県を受け入れる環境を整備する。 (2) 県民自らが福井の魅力を再発見して積極的に発信する機運を高め、新たな観光資源の発掘につなげる。 (3) 旅行系インスタグラマーや首都圏を中心に女性に人気のWEBサイト・雑誌を活用して本県情報の発信・拡散を図る。												
[事業内容]												
(1) インスタ映えスポット造成支援事業 ・ インスタ映えスポットを整備する際に要する経費を補助 (2) インスタグラムフォトコンテスト事業 ・ インスタグラムフォトコンテスト開催(年2回) ・ 投稿写真の多様化 (3) インフルエンサーを活用した情報発信事業 ・ 「福井女子部」の運営 ・ インフルエンサーによるインスタ映えスポットの取材・発信 ・ インフルエンサーの取材を基に記事を制作し、女性向けWEBサイト「OZma11」や雑誌「オズマガジントリップ」等に掲載												
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

SNSを活用した福井ファン拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	一、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,977	7,488			7,489	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,415	9,680	17,252	14,977	インスタ映えスポット造成支援事業、インフルエンサーを活用した情報発信事業の減					
2月現計予算額の推移			3,415	9,680	17,252							
決算額の推移			3,415	8,296								
前年度までの 主な増減理由	R2年度は特設サイトの開設、小冊子の制作を実施したため、事業費が増加した。 R3年度はインスタ映えスポット造成、Instagramフォトコンテスト事業が加わったため、事業費が増加した。											
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	Instagramフォトコ ンテスト投稿数	(目標)			(20,000)	(25,000)	(30,000)	(30,000)	令和2年度 計14,237件			
活動指標	Instagram映えスポット造 成数	(目標)			(20)	(20)	(20)	(20)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
R3インスタ映えスポット17カ所整備予定				Instagram映えスポットの整備箇所を6カ所に減らし、補助上限額を高め、まちなかの周遊につながるスポットの整備につなげる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,275	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたサービス品質向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]					
[解決すべき問題・課題] 民間調査によれば、本県の宿泊旅行者の満足度は全国38位と低く、北陸新幹線開業まで3年をきるなかで、観光事業者のサービスレベルを上げることが急務である。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査結果 福井県旅行者の満足度と全国順位 ・地元の人ホスピタリティを感じた 45位 ・現地で良い観光情報を入手できた 47位						
[事業目的] 全国レベルのサービス品質を確保し、旅行者が満足できるような受入体制を強化するため、観光事業者に足りていない接客サービス等についてのセミナー開催や、国が実施するサービス品質の認証制度について「金認証」以上の取得支援を実施する。												
[事業内容] (1) サービス品質「見える化」セミナーの開催 R3年度実施の「おもてなし規格認証を活用したサービス向上セミナー」により浮き彫りとなった、本県の観光事業者に足りていない部分を重点的に解説するセミナーを開催し、金認証取得を支援する。 ①規模 飲食・宿泊・交通業界 約50人 × 6地域(福井市、坂井・あわら、奥越・永平寺、丹南、二州、若狭) ②内容 心のバリアフリー、経営力の強化など (2) 紅認証の取得 ゼロ予算 R3年度実施の「おもてなし規格認証を活用したサービス向上セミナー」の映像の活用により、紅認証の取得を促進し、金認証取得へのステップとする。												
[受益者] 県内の観光事業者(飲食・宿泊・交通)						[想定される受益者数] 5,288事業所(H28経済センサス—活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

北陸新幹線開業に向けたサービス品質向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度		
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,796	1,398			1,398	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				4,518	4,052	2,796	おもてなし規格認証の運営団体による「金認証」審査について、新型コロナウイルスの影響によりリモート審査が中心となっていることから、県による審査旅費補助に係る経費を削減					
2月現計予算額の推移				2,262	2,796							
決算額の推移				1,870								
前年度までの主な増減理由		R2→R3 セミナー開催費用の精査										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	認証取得数(累積)	(目標)		(30)	(60)	(90)	(100)	(100)	北陸新幹線福井・敦賀開業時まで100件			
		実績		—								
活動指標		(目標)										
		実績										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
認証取得数 紅認証 67件、紺認証 1件 (R4年3月現在)				「金認証」審査に係る審査員旅費の補助を削減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,256	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けたおもてなし機運醸成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			経過年数					3 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業自体の認知度と比べて開業駅名の認知度が低いなど、新幹線開業に対する実感が薄い県民もまだ多くいることから、新幹線開業を自分事として捉えてもらうため、身近なイベント等でのPRを強化するとともに、自発的におもてなしの心もちとなるような仕掛けが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 開業の認知度 (R3.7 イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)						
[事業目的] 県民総参加のもと来県者を心のこもったおもてなしでお迎えするため、企業・団体等におもてなしの取組を宣言・実践いただき、おもてなし機運の醸成を図る。また、県内イベントに出展し開業をPRする広報キャラバンを結成するとともに、新幹線開業ウェルカムダンスを制作・各地で披露し、県内の盛り上げを図っていく。												
[事業内容] (1) おもてなし宣言の登録 ・県内の企業・団体等におもてなし活動を宣言し実践してもらい、ステッカー等を宣言企業・団体に提供し、県HP等で周知 また、県民時計やお手振りイベント(想定)等の開業関連イベントに参加を促し、おもてなし機運醸成の県民運動につなげる。 (2) 県内イベントでの開業PRキャラバン ・新幹線開業の機運醸成を図るため、県内各地で開催されるイベントに出展する開業PRキャラバン隊を派遣する。 また、市町や民間のイベントへもパネル類の貸出を行い、民間企業と協働で開業機運を盛り上げる。 (3) 新幹線開業ウェルカムダンスによる機運醸成 ・はぴねすダンスをリメイクした新幹線開業ウェルカムダンスを活用し、地域のイベントをダンスで盛り上げ、県民参加型の機運醸成を図る。 ・県民から募集・登録するダンスサポーターとともに、県内各イベントにてダンス披露 ・希望団体への出前教室を引き続き実施												
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町や民間イベントへのパネル類の貸出しを実施					他県の状況						

北陸新幹線開業に向けたおもてなし機運醸成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	29,334	14,667			14,667	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			13,478	25,610	29,334	おもてなし宣言 目標数200→300件へ増 開業PRキャラバン日数 20日→40日へ増						
2月現計予算額の推移			13,478	23,300								
決算額の推移			11,552									
前年度までの 主な増減理由	R2→R3 県内イベントでの開業PRキャラバンの日数を8日→20日に増加 (うち10日間は、新たに市町や民間イベントへの貸し出し) 新たに新幹線開業ウェルカムダンスを制作											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	開業時期の認知度 (%) (目標)		(70)	(75)	(80)	(90)	(100)	R元年度の認知度：64%				
	実績		62									
活動指標	開業PRキャラバン実施日数 (日) (目標)		(10)	(20)	(40)	(80)	(100)	県内で実施した開業PRキャラバンの実施日数				
	実績		14									
活動指標	おもてなし宣言の宣言数 (累計) (目標)		(200)	(400)	(700)	(1,000)	(1,000)	県内でボランティア等のおもてなし活動に取り組む団体や企業				
	実績		166									
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
・おもてなし宣言291 宣言企業・団体数 430 (2月末) ・PRブース出展実績 県イベント／7月ハピテラス「fukuiの魅力お届け隊」(2日)、11月県産業会館「農林水産まるごとフェスタ」(2日)、「はぴりゅうフェスタ」(2日)、以降1イベント(計2日)出展予定 市町民間貸出し／9イベント(9日)、以降4イベント(計6日)貸出し予定			おもてなし宣言の目標数増 県内イベントでの開業PRキャラバンの日数を増加 新幹線開業ウェルカムダンスのステージ出演や出前講座など、普及活動を強化				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
							□ 継続	□ 休止	□ 完了			
							□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

認定観光ガイド養成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題] 民間調査によれば、福井県内での観光案内に対する観光客の評価は全国下位であり、新幹線開業までの期間に限られるなかで案内レベルの向上が急務である。 県内の飲食店や道の駅等においても、観光客からおすすめの観光地や食を尋ねられた際に答えられないという声もあり、広域的な観光案内ができる人材育成が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] じゃらん宿泊旅行調査結果 福井県旅行者の満足度と全国順位 ・地元の人ホスピタリティを感じた 45位 ・現地で良い観光情報を入手できた 47位						
[事業目的] 県内の道の駅や観光案内所などで、観光客に宿泊施設やおすすめの食事場所を交えた観光コースの提案等が行える人材を育成し、観光客の満足度を高めるとともに、回遊性の向上による観光消費額の増加を図る。												
[事業内容] 高度なガイドング技術を習得するための講義、実技試験 認定目標数：30名 回数：5回												
[受益者] 福井県への観光客						[想定される受益者数] 1,171万人 (R2年観光客入込数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾					

認定観光ガイド養成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	小野田 謙一					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,045						2,045									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			2,338	2,338	2,343		2,045									
2月現計予算額の推移			2,338	2,338	4,090											
決算額の推移			2,044	2,019	1,748											
前年度までの 主な増減理由		R2→R3 セミナー開催費用の精査														
[成果指標等の推移]																
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	認証取得数(累積)	(目標)	(30)	(120)	(150)	(180)	(210)	(210)	(210)	令和4年度目標 210人						
		実績	30	28	31											
活動指標	養成講習会実施回数	(目標)	(7)	(7)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)							
		実績	7	6	5											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
R3認定観光ガイド認定者 19名									<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					